

# 日本栄養・食糧学会中部支部

## 令和3年度 第2回 参与会議事録

**日時** 令和3年11月27日（土曜日） 11:15～11:50  
**場所** ウィンクあいち（1301号室）およびオンライン Zoom  
**出席者** 参与 25名（対面14名、Zoom11名）、会計幹事

### 議 題

#### I 審議事項

##### 1. 令和3年度事業計画

令和3年度第1回参与会以降に詳細が決定した第79回支部大会の詳細について、庶務幹事から説明があった。第79回支部大会は、令和3年11月27日（土）12:40～16:50の予定でウィンクあいち・オンライン Zoom のハイブリッド開催し、一般講演12演題（そのうち優秀発表賞応募8演題）および特別講演を実施する。

##### 2. 令和4・5年度支部役員の選出、参与・代議員

次期支部役員が提案され、承認された。

また、支部参与は現時点で41名であるが、新参与の推薦が2月締め切りで行われるため、変更となる可能性が説明された。代議員については、10月に実施された代議員選挙で選出された14名が令和3年11月1日より新たに2年間の任期で決定していることが報告された。令和4・5年度支部役員、参与、代議員の承認がされた。

##### 3. 令和4年度支部特別協賛団体

昨年度から支部特別協賛団体の1団体から辞退の連絡があり、8社となったことが報告された。

##### 4. 令和4年度事業計画案

来年度は、新体制で支部大会および参与会を開催予定であるが、現時点では日程、場所、内容については未定であることが説明され、承認された。

##### 5. 令和4年度予算案

会計幹事より、令和4年度は支部大会および参与会を2回実施する予定で予算案を立てている旨の説明があり、令和4年度予算案が承認された。

##### 6. 令和4,5年度理事候補者の選出

理事候補の中部支部選出定数は2名であり、役員の選出に関する規定にあるように、被選挙権は支部正会員にあり、選挙権は支部の14名の代議員が有することが選挙管理委員長から説明された。

また、その理事候補の選挙に関する事項は支部選挙管理委員会で決定すること、選挙管理委員会およびその事務に関する事項は支部が決定することとなっている旨、説明された。そのため、支部長からその理事候補の選出については、支部長経験者や理事経験者で議論の上、候補者を推薦し、その推薦者について選挙権を有する代議員が承認する形での選出方法が提案され、承認された。

#### 7. 名誉会員・終身会員の推薦

名誉会員・終身会員の規定に該当する会員がいないことが説明され、承認された。

#### 8. 令和4年度新参与候補者の推薦

参与に関する規定を説明した上で、新参与候補者を年内に推薦いただくように依頼をした。

#### 9. 中央選挙管理委員・支部選挙管理委員長の選出

2年任期で支部より1名選出することが説明され、中部支部からは次期庶務幹事を選出することが承認された。

#### 10. その他

支部長から優秀発表賞の応募規定として、30歳未満かつ、大学院生（学部生は該当しない）となっている規定の改定を考えていきたい旨、説明があり、意見を交換した。大学院生との条件については、学部学生も応募できるように内規を次回参与会で改定することが承認された。また、年齢制限については、社会人の場合30歳未満だと難しいとの意見もあったが、具体的に何歳までとするかについては今後、さらに検討していくこととした。

## II 報告事項

### 1. 代議員選挙の報告

支部選挙管理委員長より、10月に代議員選挙が実施され11月1日に新代議員が決定していること、有権者323名のうち、投票者は103名、投票率は31.89%であったと報告された。

### 2. 理事会報告

理事から、10月23日にZoomでのオンライン会議の内容について以下報告があった。

- ・編集委員会から学会誌への投稿・発行状況は順調であるが、今年度からJSTのジャーナルコンサルティングを受けているため、3月までにその状況もご報告したい
- ・JNSVの投稿数は10月23日までで214件と昨年度より増加したが、採択率が低下し掲載数は減少した。IFは2.0に上昇している。次期JNSVの編集委員長の候補が紹介された。
- ・第76回神戸大会は6月に開催予定であり、ホームページが開設済み。
- ・第22回国際栄養学会議の準備状況が報告され、演題登録が開始されている。
- ・各種受賞選考委員会より、功労賞3件、学会賞4件、奨励賞4件、技術賞2件の応募状況。
- ・第77回大会準備状況について、準備委員長から報告があり、2023年5月12-14日、札幌コ

ンベンションセンターにて開催予定。

・徳島大学で採択された宇宙専門管理栄養士制度の紹介があった。本学会でも制度について議論するためワーキンググループが立ち上げられた。

以上

